

実施方針等に関する質問書に対する回答

No.	資料名	該当箇所						質問	回答
		頁	項						
1	実施方針	1	I	4				「本事業は、設計施工一括発注方式で実施する」とありますが、契約についても設計施工一括で行うとの理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
2	実施方針	7	II	6	(1)	①		「入札参加者は代表企業を定め…」とありますが、代表企業が備えるべき要件はありますでしょうか。	入札参加者に備えるべき要件を満たしていれば、どの企業であっても代表企業とすることが可能です。
3	実施方針	8	6	(2)	②	ア	(ア)	設計業務を行う者は「福岡市・水道局・交通局競争入札有資格者名簿(種別:委託)」の申請区分業種:「建築設計」のみの登録でよろしいか。	設計業務を行う者は、P8 実施方針 II 6 (2)ア 設計業務を行う者に示す要件について該当するものとします。
4	実施方針	9	II	6	(2)	②	イ (ウ)	建築一式工事、電気工事、管工事、いずれかの工事の許可を受け、かつ定められた総合評定値以上の総合評定値でなければならぬという理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
5	要求水準書(案)	9	第3章	第1節	2	(1)		「超大型炉1基、大型炉2基、普通炉23基を整備する」とありますが、大型炉の代わりに超大型炉を整備し、「超大型炉3基、普通炉23基」を整備するする提案としても宜しいでしょうか。	要求水準書のとおりとします。
6	要求水準書(案)	14	第3章	第3節	1	(2)	4) ⑥	「エ 停電時には、非常用発電設備からの電力供給を受けるシステムとすること」とありますが、46頁にて「非常用発電機本体は、既設流用とすること」との記載があります。停電時においては、既設の非常用発電機の容量で稼働可能な炉数にて運用するとの理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
7	要求水準書(案)	17	第3章	第3節	1	(4)	3) ①	「部分引き渡しする前に大気、悪臭の測定を行うこと」とありますが、実火葬の調整期間が必要となります。調整期間は協議により決定されると考えて宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。

8	要求水準書(案)	17	第3章	第3節	1	(4)	4)	①	「全ての火葬炉更新工事が完了した際に、大気、悪臭、騒音、振動の測定を行うこと」とありますが、大気、悪臭のうち排気筒出口での値が定められているものについては、部分引き渡し時に各系列にて測定が完了しているものと考えます。事業完了時検査においては、全ての火葬炉更新工事が完了しないと実施できない「敷地境界における悪臭、騒音、振動の測定(同項③に記載)」を実施するとの理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
9	要求水準書(案)	20	第3章	第3節	2	(2)	1)	①	炉内耐火材の材質及び構成は、火葬炉メーカー独自の技術があるため、メーカー提案で宜しいでしょうか。	事業者提案としますが、提案の性能を明確にさせていただくため、要求水準書にある材質や厚さ、仕様について記載してください。
10	要求水準書(案)	20	第3章	第3節	2	(2)	3)	②	架台は、クロムを含まない材質であれば、セラミックと異なる材質でも宜しいでしょうか。	事業者提案としますが、同等以上の性能とし、材質や仕様を提案時には明らかにして下さい。
11	要求水準書(案)	22	第3章	第3節	2	(4)	1)	①	誘引排風機の形式について、ベルト掛けの仕様でもインバータによる制御を行っている実績が多数あります。本体がコンパクトになることから、直結型と固定せずメーカー提案仕様でも宜しいでしょうか。	事業者提案によることとします。
12	要求水準書(案)	23	第3章	第3節	2	(5)	2)	①	冷却用空気送風機の形式について、実使用上支障がなければ、ターボファンと固定せずメーカー提案仕様としても宜しいでしょうか。	事業者提案によることとします。
13	添付資料1 各業務仕様書	31	火葬炉 電気設 備工事 特記仕 様書	01	4	運転制 御設備	(1)		現在、コントロールセンターから各動力機器へケーブル敷設をしていると思いますが、工事費削減を目的から各制御盤からケーブルを敷設したいと考えます。その為、コントロールセンターは各制御盤への電源供給のみとして良いでしょうか。	要求水準書第3章第3節3(2)2に記載のとおりです。
14	添付資料7 更新後火葬タイ ムテーブル								「予備炉」との記載がありますが、毎日に休止する炉を設定し、それを予備炉として考えるとの理解で宜しいでしょうか。予備炉の考え方を確認させて下さい。	点検等の実施により休止させる炉を「予備炉」と位置付けています。点検等を実施しない火葬炉は休止することなく稼働させるため、毎日に予備炉を設定する必要はありません。
15	各業務仕様書 火葬炉機械設備 工事特記仕様書		5	(2)	2				一般共通事項 2.技能士の適用 配管技能士の適用となっています。特に特殊な配管はありませんが、配置が必要でしょうか。	不要とします。対象箇所は修正します。

16	各業務仕様書 火葬炉機械設備 工事特記仕様書		5	(2)	11		工)	火葬炉設備 工)掃除用設備 各室の掃除を目的とした設備とされていますが、要求水準書(案)P24 第3節「火葬炉設備更新工事要件」2. 火葬炉更新工事(機械設備)(7)附帯設備 2) 残骨灰・集じん灰吸引設備とは目的が異なります。特記仕様書 第11項「付帯設備」工)に記載の掃除用設備は、集じん灰吸引設備を指すと考えてよいでしょうか。その場合、中央制御室や電気室などの清掃用配管は無いものと考えてよいでしょうか。	ご理解のとおりです。
17	各業務仕様書 火葬炉電気設備 工事特記仕様書		4	(1) (2)				中央監視装置 (1)中央監視装置および、(2)サーバー 仕様書の「2 仕様 a)」に記載されているCRTについてですが、LCDなどを採用しても問題ないと考えてよいでしょうか。	問題ありません。
18	各業務仕様書 火葬炉電気設備 工事特記仕様書		4	(4)				計装設備 (4)炉内圧制御 炉内圧力制御ダンパーについて、制御するよう特記されていますが、設計段階で各メーカー仕様に基づき変更しても問題ないと考えてよいでしょうか。	問題ありません。